

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要(変更)

計画主体名	計画期間
しずおかけん 静岡県(代表)・かわねほんちょう 川根本町・しまだし 島田市・ふじえだし 藤枝市	H20～H23

< 連絡先 >

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
静岡県 経済産業部農山村共生課	054 - 221 - 3526	054 - 221 - 2839	nousankyoushou@pref.shizuoka.lg.jp
川根本町 産業課	0547 - 56 - 2226	0547 - 56 - 2235	sangyou@town.kawanehon.shizuoka.jp
島田市 お茶が ん ばる課	0547 - 46 - 5623	0547 - 46 - 5301	tea@city.shimada.shizuoka.jp
藤枝市 農林課	054 - 643 - 3111(代)	054 - 643 - 3610	norin@fujieda.city.shizuoka.jp

事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標		増加率等の算出																								
	増加率等																									
5 地域産物の販売量の増加 (木材)	25.03%	計画区域において生産された農林水産物の販売量の増加(%) = (H20~H23の地域産の農林水産物の販売量(m ³)(目標) ÷ H16~H19の地域産の農林水産物の販売量(m ³)(現状) × 100 - 100 = (12,200 ÷ 9,758) × 100 - 100 = 25.03%																								
事業活用活性化計画目標の設定根拠																										
<p>【対象地区：川根本町全域】</p> <p>事業主体である森林組合おおいがわの過去4年間（H16～19年度）における川根本町内の木材の販売量は9,758 m³であった。今回の施設整備によって適正な森林施業が進み、間伐等の森林整備を行うことにより地域産材の品質を向上し、さらに搬出積込みに掛ける手間も省力化できることから木材の販売量が増加し、H20～H23の木材の販売量累計は25.03%増の12,200 m³を見込んでいる。</p> <p>< 目標 ></p> <table> <tr> <td>平成20年度</td> <td>2,600 m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>3,000 m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>3,300 m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>3,300 m³</td> <td>4カ年の累計 12,200 m³</td> </tr> </table> <p>< 現状 ></p> <table> <tr> <td>平成16年度</td> <td>2,400 m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>1,462 m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>3,168 m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>2,728 m³</td> <td>4カ年の累計 9,758 m³</td> </tr> </table>			平成20年度	2,600 m ³		平成21年度	3,000 m ³		平成22年度	3,300 m ³		平成23年度	3,300 m ³	4カ年の累計 12,200 m ³	平成16年度	2,400 m ³		平成17年度	1,462 m ³		平成18年度	3,168 m ³		平成19年度	2,728 m ³	4カ年の累計 9,758 m ³
平成20年度	2,600 m ³																									
平成21年度	3,000 m ³																									
平成22年度	3,300 m ³																									
平成23年度	3,300 m ³	4カ年の累計 12,200 m ³																								
平成16年度	2,400 m ³																									
平成17年度	1,462 m ³																									
平成18年度	3,168 m ³																									
平成19年度	2,728 m ³	4カ年の累計 9,758 m ³																								

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
		5 地域産物の販売量の増加 (荒茶)

事業活用活性化計画目標の設定根拠

【対象地区：島田市川根町身成】

身成地区の基幹産業である茶産業は、荒茶価格の低迷や高齢化、後継者不足により生産量の低下や耕作放棄地の発生による地域の疲弊が懸念されている。静香茶農協の機能強化を行い農地集積や新たな受益地を求めるとともに、生産体制の充実により収量を増やし荒茶販売量を増加させ、茶業経営の安定により身成地域の活性化を目指す。

	16年	17年	18年	19年	4年間計	20年	21年	22年	23年	目標年度計
増加面積(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
受益面積(ha)	55	55	55	55	55	55	55	55	56	56
年間茶販売量(kg)	95,645	98,416	87,550	89,808	371,419	90,096	111,635	81,247	112,300	395,278

地域として把握できる静香茶農業協同組合の販売実績を、地域産物の販売量として算定。

現在、4社の取引先があるが、機能強化による上質な荒茶製造により新たに3社との取引が見込まれている。

23年は受益面積増加及び管理の徹底による収量増を図り、販売量を増加させる

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
		5 地域産物の販売量の増加 (てん茶)

事業活用活性化計画目標の設定根拠

【対象地区：藤枝市朝比奈地区】

計画期間前 H16～19 年度の農林水産物の販売量（現況） 463.1t

計画期間内 H20～23 年度の農林水産物の販売量（目標） 606.7t

現況：区域内でてん茶を製造している 3 工場の生産実績を地域農林水産物（てん茶）の販売量として算定

目標：生産実績及び新たに整備するてん茶加工施設については、生産組織の生産計画より販売量を算定

茶工場別てん茶生産実績・計画

単位：kg

販売量	小園碾茶組合	朝比奈碾茶組合	青羽根茶業	計
H16 年度	66,191	45,978	0	112,169
H17 年度	58,151	39,703	0	97,854
H18 年度	62,123	37,492	0	99,615
H19 年度	64,333	39,336	49,776	153,445
計画期間前計	250,798	162,509	49,776	463,083
H20 年度	64,159	39,299	40,866	144,324
H21 年度	58,568	44,245	43,323	146,136
H22 年度	62,300	41,000	44,600	147,900
H23 年度	62,300	41,000	65,000	168,300
計画期間内計	247,327	165,544	193,789	606,660

青羽根茶業の生産実績（てん茶 + もが茶）

単位：kg

年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	計	平均
生産量	63,306	57,922	58,339	65,971	245,538	61,385

$$61,385\text{kg} \div 15.38\text{ha} = 3,991.2\text{kg/ha}$$

地区内でてん茶を製造しているのは 3 工場のみ。

過去 4 カ年の生産実績は実績値（農協作成資料）による。

青羽根茶業ではてん茶炉を導入した平成 19 年度からてん茶も生産を始めた。

今回事業で導入後は 100% てん茶のみの生産となる。

耕作放棄が危惧される 0.62ha を集積して生産面積 16ha とする。

平成 23 年度の青羽根茶業の販売量

過去 4 カ年実績の平均反収 399kg。導入後は、単価向上に伴い、生産に余力のある二番茶、秋冬番茶を増やし、平均反収 406.9kg とする。

$$4,069\text{kg} \times 16\text{ha} = 65,104\text{kg} \quad 65,000\text{kg}$$

活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
林業機械施設	川根本町地区	高性能林業機械	スイングヤーダ 1台 プロセッサ 1台	H20～H21	森林組合おおいがわ	42,300	19,035	4.5/10	19,035	地域産物である木材の生産量の増加を図るため、森林組合による木材搬出機械、自走式枝払い、玉切り機械を導入し、安全でかつ効率的に木材を搬出及び玉切りするとともに、コスト低減を目指し、森林所有者の経営を改善し、定住を促進する。
農林水産物処理加工施設	島田市川根町身成地区	茶加工施設 生葉室改良	200K2.5ライン 264㎡	H22	静香茶農業協同組合	310,000	155,000	5.0/10	155,000	既存の茶加工施設を機能強化し、安定した高品質な荒茶製造を行うとともに、省力化により生じた人員を耕作放棄地化が懸念される農地の作業受託や借受に向け、受益面積を拡大し地域産物の販売量の増加を目指す。それにより、新規雇用、就農推進を図り、計画目標である定住人口減少の抑制による地域の活性化を目指す。
農林水産物処理加工施設	藤枝市朝比奈地区	てん茶加工施設	100k 1ライン 一式	H22	(有)青羽根茶業	46,046	23,023	5.0/10	23,023	「玉露」の産地ブランドに加えててん茶加工施設を整備することにより、新たなマーケットを開拓し、地域産物の販売量を増加させる。それによって、緑茶消費拡大による地域茶業の活性化が図られ、定住人口の減少の抑制を図る。
合 計						398,346	197,058		197,058	

優先枠等を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

1 生産製造連携事業計画優先枠

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優先枠に係る事業内容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

優先枠の種類	地区名	事業内容
2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠		

該当なし

3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優先事項に係る事業内容
3 輸出促進条件整備事業			

